

数学科 学習の手引き

1. 授業の受け方

- (1) 持ち物は、ノート、タブレットPC、筆記用具（色ペン2本）、のりです。
（必要に応じて、教科書、ワーク、ファイル、定規、コンパスの準備をしてください。）
- (2) 授業中、つぶやき・発言・質問はどんどんしましょう。
- (3) 話を聞くときは、耳を傾けてしっかり聞くこと。
- (4) わからないことはそのままにしないこと。自分で考えてわからないときは、友達や先生に質問して、解決しましょう。

※その授業がどれだけ理解できたか。数学の上達はその積み重ねによるところが大きいです。その一番のもとになっているのが授業です。わからないところをその日のうちに解決して、次の授業に臨むようにしましょう！

2. 家庭学習の取り組み方

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

※オンライン学習ドリル Navima の数学は教科書の問題をそのまま掲載しています。
どんどん取り組んでいきましょう！

○ワークを効果的にマスターするポイント

⇒授業で習うたびに解くことをおすすめします。授業で習った後であれば、スムーズに解くことができるはず。一度解いておけば、テスト前に再度解き直した時もすらすら解けます！

(3) ノートを効果的に使う

計算ミスを生んでしまう一番の原因は字が雑で見にくいことです。ノートは余白をたっぷりとり、字を大きく丁寧に書くことで、計算ミスが一気に減るので勉強効率も大きく上がります！

○ノートは計算用紙とってください！

⇒ノートをきれいにまとめようとするあまり、時間をかけすぎていませんか？もちろんきれいなノート作りも大切ですが、そこに時間をかけすぎるのは効率的とはいえません。計算用紙と思うくらいの気持ちで使った方が効率よく勉強できます！

※1日1ページでもいいので、とにかく数学に触れる、数学のことを考える時間を作ることで
す。教科書を1ページ写したり、問題を1問解いたりするだけでも構いません。

3. テストに向けた取り組み方

○テスト範囲の教科書、ワークの問題を解く。

- ① まずは何も見ないで解き、丸付けをする。
- ② わからない問題や間違えた問題を教科書やノートを見ながら解く。
(間違えた問題にはチェックをする！)
- ③ ②でもわからない場合は解答を見ながら解く。
- ④ 何も見ないで解けるまで、何度も繰り返し取り組む。

4. よくある質問

Q：数学はテストで時間が足りなくなるのですが、どうすればよいですか？

A：時間が足りない原因は「計算力が足りない」「解き方が完璧に頭に入っていない」ことが考えられます。この2つを解決するには、勉強時間を増やすしかありません！問題を讀んだ瞬間に解き方が浮かぶようになるまで問題演習に取り組みましょう。わからないことはどんどん質問して下さいね！

5. 評価や成績

●3つの観点をABCの3段階で評価します。

A：十分満足できるもの B：おおむね満足できるもの C：努力を要するもの

① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。



上の2点については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取り組み・作成物を中心に、評価項目にあった内容部分をもとに、A、B、Cで評価します。

③ 主体的に学習に取り組む態度

家庭学習、振り返り、課題やノートの提出・内容、授業中の発言、意欲的な授業への取り組み等で総合的に判断します。

数学はできるだけ毎日、少しでも学習を行うことで、考える力、

表現する力、計算力が身につきます。「継続は力なり」です！